わかる授業、楽しい実験満載の
理科の授業づくり・実験講座
科教協静岡　第 15 回研修交流会

主催：科学教育研究協議会 静岡支部　　後援：静岡市教育委員会　　協力：ふじのくに地球環境史ミュージアム

日時：2024 年 5 月 12 日（日）10:05～15:30

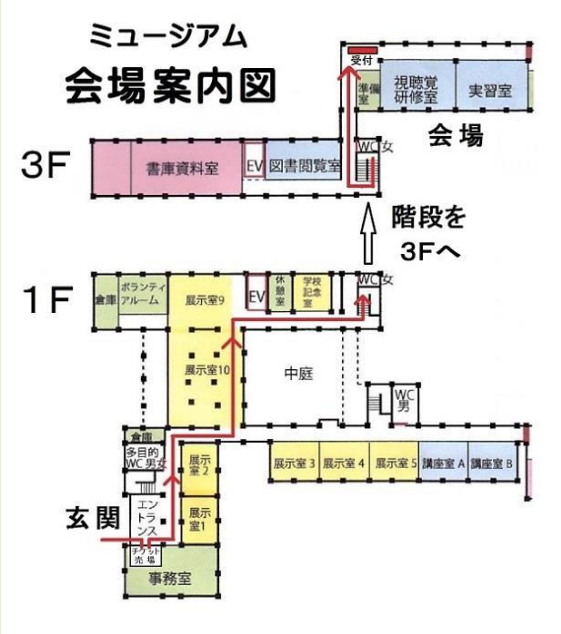
会場：ふじのくに地球環境史ミュージアム

3F　視聴覚研修室・実習室

〒422-8017 静岡市駿河区大谷 5762（旧 県立静岡南高校）

🚌：JR 静岡駅北口バスターミナル 8 番乗り場より、美和大谷線「ふじのくに地球環境史ミュージアム」行き乗車 10:00 発、終点 10:28 着下車。その後、毎時 00 分発。（所要時間約 30 分、運賃：大人 370 円）

🚗：東名高速日本平久能山スマート IC から 5 分、無料駐車場（200 台）



参加費：500 円

当日、この「チラシ」を見せて入館してください。「観覧料」は科教協静岡が対応します。
＊大学生以下の学生、70歳以上の方は観覧料が無料です。証明できるものをご持参ください。

申し込み：事前に「こくちーず」から申し込みをしてください。右のQRコードから、または検索で「こくちーず」「セミナー検索」から探せます。当日参加も可能です。

日程・内容（開館　10:00）

〈午前の部〉10:05～12:15

10:05～10:30〈展示室 1〉ミュージアムガイダンス
〈バスでの参加者は、これ以降の参加となります〉

10:40～　〈視聴覚室〉開会あいさつ

10:45～12:05 **【講演】「教師も楽しい理科の授業」**
～環境や地震をどのように考えさせるのか～

講師：**上久保（かみくぼ） 廣信（ひろのぶ）**　1956 年生まれ　認定 NPO 法人　地下からのサイン測ろうかい　副代表
元公立中学校教諭　環境・防災修士　ふじのくに防災士

実践記録「東海地震から命を守る－私の防災計画づくり－」『理科教室』2014.2
「放射線を学ぶ」『理科教室』2014.10
「今、起きている現実からエネルギーを考える」『理科教室』2015.12
「南海トラフ地震に備える地学教育－知ることが行動につながる教材づくり－」『理科教室』2022.8

先生が生き生きと楽しく授業をする時、生徒も授業を楽しいと感じるようです。先生が授業を楽しむとはどういうことでしょうか。これまでの環境問題や防災教育を兼ねた地震の授業実践から授業を楽しむ生徒の声を紹介します。また、生徒の思考をノートのメモ欄に書かせる「頭の良くなるノートの使い方」を合わせて紹介します。

12:05～12:15　質問、諸連絡

〈午後の部〉13:00～15:30〈視聴覚室・実習室〉

13:00～15:20 **【授業づくり・実験講座】**
［詳しくは裏面参照］

15:20～15:30　諸連絡、講座ごと閉会

昼食について…ミュージアム売店では弁当販売をしていますが、数が少ないので、弁当持参をお勧めします。近くにコンビニもありません。

【授業づくり・実験講座】

【授業・実験での困りごとコーナー】

今、困っていること、うまくいかないことはありませんか？答えますよ！

	講師	【テーマ】具体的内容
小学校講座	中学年 野末 淳（埼玉）	「課題方式の授業づくり～4 年生の授業映像視聴から～」 課題方式の授業は、 〇教師がしゃべらない⇒子どもたちが大いに語り合います。 〇教師がまとめを書かない⇒子どもが自身の言葉で書けます。 そのような「主体的・対話的で深い学び」の授業方法の一つです。 そして、1時間で、予想・話し合い・実験・わかったことまでできちゃいます。だから、時間数にも余裕が持て、教師もうれしい授業です。 課題方式を初めて聞いたという方も大丈夫。 **小学校4年生の実際の授業映像「水のすがた」をもとに、気軽に語り合いましょう！**
	高学年 鈴木 拓実	子どもにとってワクワクするようなストーリー性のある単元デザイン 子どもにとってワクワクした気持ちで学んでいくにはどうしたらよいかを日々考えています。 今回は、**小学校6年生「土地のつくりと変化」**を地元の地層「神尾横臥褶曲断層（かみおおうがしゅうきょくだんそう）」の教材化を通して行った実践を紹介します。 傘袋を使った地層作り体験：ペットボトルやメスシリンダーなどを使って作る地層よりも、もっと大きく迫力のある地層を再現できる方法を紹介します。
中学校講座（SCIENTIA）	高橋 政宏	 北海道と沖縄と静岡の透明半球の話 ドローンを用いた上空の気象条件観測の話 生成 AI を用いた授業づくりの話
	杉本 寛	自分とは関係のない教科書の世界が、 実は身近に起きていたと実感できる 「大地の変化」の話 ～地域教材と ICT を活用した実践～ 高草山の玄武岩 （静岡県焼津市）
	田村 響太郎	 サメの歯の化石の話 恐竜の化石からのダイナミックな環境復元の話 木の葉石からの環境復元の話 琥珀の話からのキレイな化石の話

【科教協静岡と研究紹介】「科教協静岡ホームページ」（右のＱＲコード）

【問い合わせ先】 科学教育研究協議会　静岡支部代表：片山 昇
E-mail：kagaku.sizuoka14@gmail.com

【当日連絡先】 篠崎（しのざき） 勇（いさむ）　携帯 080-3656-1974

「科学教育研究協議会（科教協）」とは

理科教育に関心をもつ小学校から大学の教員、研究者や、学生、市民も参加する研究団体で、大会や研究会、機関紙「科教協ニュース」、月刊誌『理科教室』（メトロポリタンプレス）等で交流をしています。

科学教育研究協議会　https://kakyokyo.org/　　cntact@kakyokyo.org

(株)メトロポリタンプレス　https://www.metpress.co.jp/　　sales@metpress.co.jp

PR
ふじのくに地球環境史ミュージアム
百年後の静岡が豊かであるために
ふじのくに地球環境史ミュージアム
Museum of Natural and Environmental History, Shizuoka
＊詳しくは、上の QR コードをからご覧ください。